

静岡地域勉強会の活動 2017年度 第11回(年度末)

2018年3月20日(火)

場所 静岡駅近く あざれあ4階 会議室

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
静岡地域勉強会

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1. 参加者 3/20は10名参加

原則、毎月の第三水曜日の午後5時半スタート 8月は休会

No	氏名	会社名	4月19日	5月17日	6月21日	7月26日	9月20日	10月18日	11月3日	12月20日	1月17日	2月21日	3月20日
1	座長 高橋 孝一	SOMPOリスクアマネジメント株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	赤堀 三代治	ARMS	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×
3	石井 洋之	IST 経営コンサルティング	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
4	大鐘 祥太郎	大鐘測量設計株式会社	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○
5	大竹 秀昇	矢崎総業株式会社	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×
6	高橋 義久	高橋海事ISO労務事務所	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
7	宮角 良介	e-経営推進室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	大石 育三	(有)大石ビジネスコンサルティング	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
9	加藤 恒雄	有限会社キョウエー	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
10	中村 讓治		○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×
11	真鍋 明宏	小糸製作所	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○
12	八木 宏仁	株式会社テクノスルガ・ラボ	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×
13	永野 海	中央法律事務所	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○
14	岩本 裕二	トータルプランニング	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×
15	ソロンゴ・バーター	静岡県立大学 大学院生	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×
16	上岡 正栄	SKATータルサポート	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
17	北川 裕章	経営支援アドバイザー		オブザーブ	○	○	○	○	×	×	×	○	○
18	ウィーズ・コマラワティ	静岡県立大学 大学院生	オブザーブ	オブザーブ	×	×	×	×	×	×	×	×	×
19	海老澤 聡									オブザーブ	×	×	×
20	池谷 千尋	(有)池ちゃん家ドリームケア									オブザーブ	○	○
21	増本 陽	弁護士										オブザーブ	オブザーブ
22	湯瀬 裕昭	静岡県立大学 教授										オブザーブ	×
		講師	インフォコム 高橋さま	西光エンジ ニアリング 岡村社長	維持管理 座長 中谷さま	堀越 理事長	浅野 理事	加藤さま 永野さま	合宿 川村さん参加	真鍋さま 永野さま	角屋さま	丸谷 副理事長	永野さま 石井さま
		メンバー参加者	11	11	10	10	9	13	9	11	9	12	9
		オブザーブ含めた参加者	12	13	10	10	9	13	10	12	10	14	10

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2. 勉強会の内容(2017年度)

BCAO静岡地域勉強会 2017年度のテーマ 2018.3.20			
2017年度	日時	テーマ	備考
2017年1回	2017/4/19(水)	□講師 インフォコム 高橋克彦さま □テーマ 「安否確認と災害時における情報共有の重要性」	12名参加(メンバー11名+オブザーブ1名)
2017年2回	2017/5/17(水)	2016年度BCAOアワードで特別賞・優秀実践賞を受賞されました。 □講師 西光エンジニアリング 代表取締役 岡村邦康さま □テーマ 「代替場所を遠隔地に求め、平時にも経営の改善を目指すBCP」宮角さまの御推薦です。	13名参加
2017年3回	2017/6/21(水)	□講師 BCP維持管理研究会 中谷座長 □テーマ 「危機管理と訓練・演習」、・危機管理の考え方・訓練演習の運営概要・経営者と継続的改善	10名参加
2017年4回	2017/7/26(水)	□講師 デロイトトーマツリスクサービス 堀越様 (BCAO理事長) □テーマ「BCAOアワードの10年」 ※好事例をどのように活用していくべきか	10名参加
2017年5回	2017/9/20(水)	□講師 富士通総研 浅野裕美様 (BCAO 理事) □テーマ 「中小企業を対象としたBCPの取り組み紹介～すそ野の広いBCP策定支援プロジェクト～」	9名参加
2017年6回	2017/10/18/(水)	□加藤さま 20分程度 熊本地震における内部設備・機器類の被害及び対策 □永野さま 50分程度 日弁連がまとめた熊本地震における弁護士相談12,000件の分析	13名参加
2017年7回	2017/11/3(金)～ 11月4日(土)	11月は合宿 3日金曜日(祝日)の12時半に静岡駅集合、4日土曜日の朝または昼解散 山の宿「くさぎ里」 静岡駅から車で1時間 講師は川村さま「女性視点におけるBCP」	9名参加
2017年8回	2017/12/20(水)	□真鍋さま 40分程度 津波被害想定地域における清水区の病院、庁舎移設、火力発電所建設の防災検証 □永野さま 30分程度 日弁連がまとめた熊本地震における弁護士相談12,000件の分析	12名参加(メンバー11名+オブザーブ1名)
2017年9回	2018/1/17(水)	□角屋さま 上杉鷹山とリスク管理	10名参加(メンバー9名+オブザーブ1名)
2017年10回	2018/2/21(水)	□丸谷東北大学教授(BCAO副理事長) □「大震災の教訓も踏まえた新たな中小企業BCP導入ガイド」	14名参加
2017年11回	2018/3/20(火)	□石井さま・・・「ヒトを大切にするBCP」 □永野さま・・・「東日本大震災の津波被害訴訟に学ぶ津波防災」	10名参加

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 2018年度の合宿とテーマについて

■2018年度の合宿は……どこで いつ 候補11月23日(金・祭日)～24日(土)

赤堀様からの提案

①『組織の危機対応と事業継続』

～組織を揺るがす危機対応を体験した担当者からの報告～

駿河精機(現ミスミグループ) 八木 宏人

「海洋調査船へりおす遭難事故」

1986年6月16日、駿河精機所有の

海洋調査船「へりおす」は、漁礁調査と一般公開の目的のため、母港である静岡県清水市(当時)の清水港を出港し北海道の羽幌港に乗員9人を乗せ向かっていた。途中、福島県いわき市の塩屋埼灯台付近で海域の悪天候に遭う。運航管理者は「前線が近づいているのでなるべく避難するように」と助言したが、へりおすはそのまま航行した後、福島県相馬市、鶯ノ尾岬の沖合いで遭難信号なきまま消息を絶つ。海難審判となる。

②JA静岡経済連

精米不正表示事件

赤堀 三代治

JA静岡経済連は、2002年、茨木産こしひかり(未検査米)を静岡こしひかりの表示で製造販売。

1998年、1999年にも類似した不祥事を引き起こしており精米表示に関して3回目の不祥事となった。

このことに関して、2003年2月・3月に3つの行政機関から以下の処分を受けた。(総務庁始まって以来初)

①JAS法違反業務改善指示(食糧庁)

②食糧法違反業務改善命令(静岡県)

③農協法違反業務改善命令(農林水産省)。

この事件に対して、JA・生産者・消費者・取引業者等利害関係者の厳しい目にさらされた。

また、報道機関からも組織のありかたと存続に及ぶ厳しい声が寄せられ、厳しい対応を迫られた。

※ 本資料の文責は地域勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
静岡地域勉強会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)